

X 帯サブ・ワーキング・グループにおける検討状況

1 X 帯気象レーダーの検討体制の整理

情報通信審議会気象レーダー作業班の検討課題である、C 帯/X 帯気象レーダーの技術的条件については、来年度に導入計画のある 9.7GHz 帯汎用型気象レーダーに関するものを短期に行う検討事項として整理し、それ以外は長期に行う検討事項として関連会合（ARIB、技術試験事務）による十分な検討を経て、本審議会にて必要な技術的条件の検討を再開する方向で進める。

2 汎用型における 9.4GHz 帯と 9.7GHz 帯の区分け

「汎用型」については、同一の諸元で 9.4GHz 帯と 9.7GHz 帯の双方で実用化を目指す方針であり、設置条件等により周波数帯を区分する。特に、9.7GHz 帯は高性能型の補完を目的として運用されることを前提とし、周波数の有効利用の観点から同一免許人が全国的に設置するものとしている。

3 9.7GHz 帯汎用型気象レーダーの技術的条件に関する諸元

現在、諸元や根拠等について検討を行っており、第 9 回の X 帯サブ・ワーキング・グループで諸元の素案及び今後の検討課題として、気レ作参 5-3 を提示したところである。引き続き、諸元の確定に向けて、検討を進める。

4 占有周波数帯幅の測定法

周波数オフセットした PON パルスと QON パルスを同時にスペクトラム・アナライザにて測定すると、RBW の設定値によって PON と QON のピークレベル差が変化するため、RBW の設定値を規定する必要があるため、測定法について検討を行った。

5 衛星放送受信設備との共用検討の状況

BS/CS 受信設備への X 帯気象レーダーの送信波の影響を調査するため、測定実験を実施した。